

第11回市街地総合再生基本計画推進協議会 資料

令和4年5月11日（水）18時30分より
中央公民館 1階 講堂

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 前回会議録の確認 ※会議録は別冊
4. 【協議事項】
 - ① これまでの協議を反映させた計画案について
 - ② 前回までの協議会で出された意見・アイデア等について
 - ③ ワークショップ
5. 今後のスケジュールについて
6. 閉会

これまでのワークショップでの運営についての意見やアイデア

協議会の役割と今後のステップ

大きな目標

- ・ **お店が長く続くようなアイデア、細かなサービスの取り組み**についての検討を深めたい。
- ・ **地元の産業が発展**するような仕組みを。
- ・ 町内へ通勤している人が多いこと、北見や美幌など**周辺の人口が多い**ことを利用して、消費や移住を促進する工夫が必要。
- ・ **親子が過ごしやすい、高齢者に優しい**空間や機能を

- ・ **アンテナショップ**について津別らしさや何回も来たくなる魅力を
- ・ **人が集まる仕掛け**としてボルダリングも考えたい。認知症カフェにもなれば。
- ・ **道の駅を目指したい**。目指すと決まれば様々なアイデアが出てくる。
- ・ 拠点で滞在を楽しんでもらうだけでなく**人が街に回遊する仕組み**も考えたい。

- ・ **どうやって人を呼ぶか**。
- ・ 町外からの通勤者が多いこと、周辺に北見や美幌など**周辺に10万人以上の人口**があることを生かして、消費や移住を呼び込めるような取り組みを。
- ・ 道の駅のような、**人が立ち寄る場所**になって欲しい。一方で道の駅でも**新しい手法**が求められる。

具体的なアイデア・進め方

- ・ **ポスレジ**によるスーパーとドラッグの統合
- ・ **姉妹都市アンテナ店舗**を常設化
- ・ **地産地消製品の企画アイデア**を募ってはどうか？
- ・ **ハイヤー会社の新たな役割**
- ・ 協議会の下に**チームを組成**して検討を掘り下げる。

- ・ **道の駅**を目指すという話題によって、**若手農家から特産品**を作りたいという声が出ている。
- ・ **運営検討委員会**を立ち上げて掘り下げたい

- ・ スーパーやアンテナショップでは、**町内のお店が交代に出品**して種類を豊富にすることや、**温かみの感じられる仕組み**を実現したい。
- ・ **これだ！**というフラッグを立てるなど考えたい。

実現へのステップ

- ・ **施設管理運営**の方向性（決定時期の目途など）
- ・ **アンテナショップ運営方法**やその方向性（スーパー運営者と共同運営の可能性有無の確認、町内店舗が交代出店するための道筋作り、など）
- ・ **姉妹都市、友好都市**などの名産等アンテナショップ出店への道筋
- ・ **スマートショッピング**（スマホで買い物、買ったものを運ぶ等）の**ハイヤー会社**や**IT会社**への打診
- ・ **道の駅**を目指す方向性の決定、目指す場合の基本的機能の整備
- ・ **地域産業者との連携方法**（若手農家の特産品作り、企画アイデア公募、町内回遊のための産業者連携等）

協議会の役割

この事業の大きな目標を掲げる

- 「人が立ち寄る仕組みをつくる」
- 「町民の利便性を向上」
- 「関係人口の創出や定住を促進させる」
- 「地域の産業を発信する」

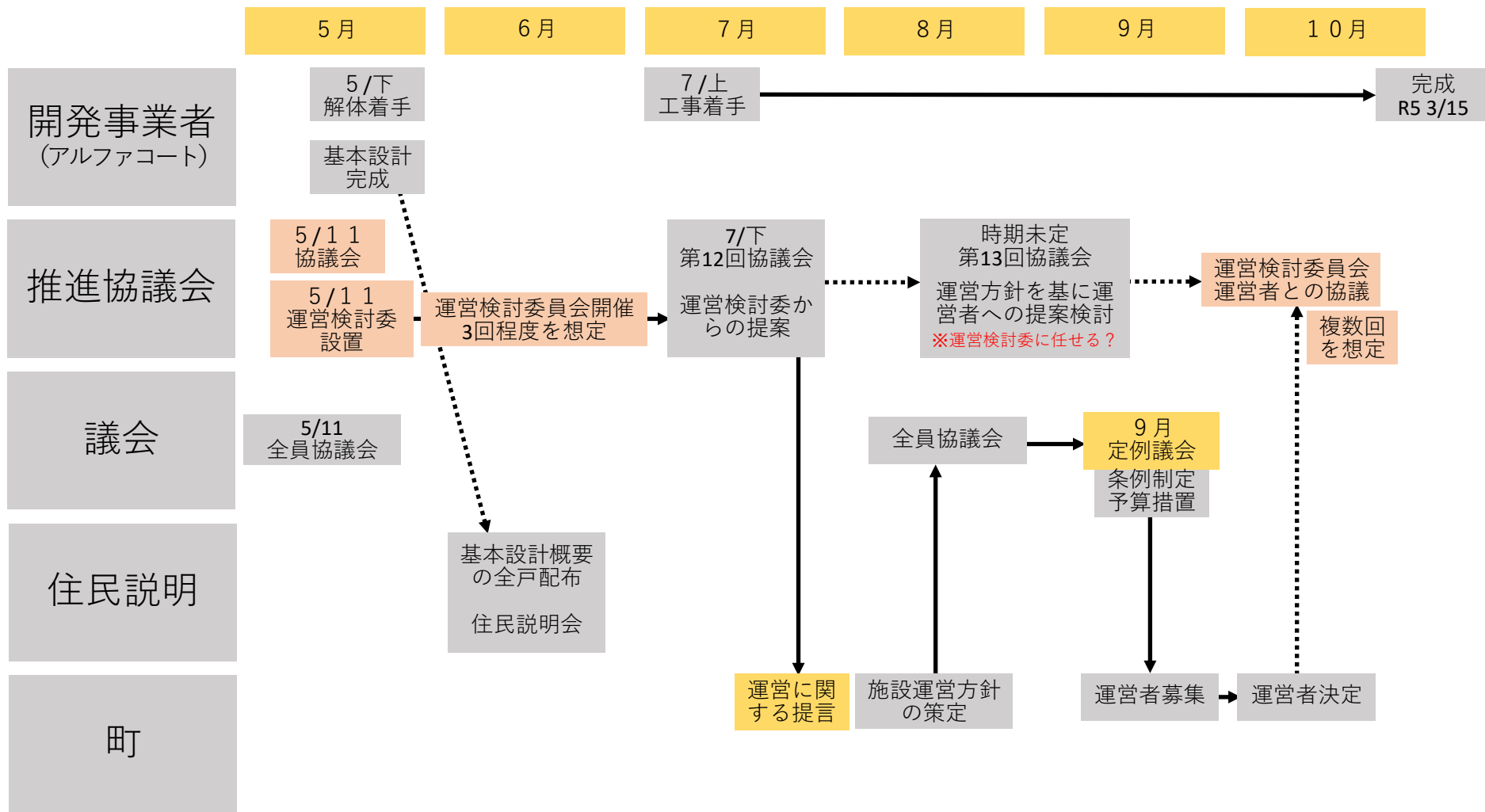
運営検討委員会を立ち上げアイデアの抽出や具体化を掘り下げる。

- 運営検討委員会のテーマ
- 「持続可能な店舗PJ」
- 「にぎわいを呼ぶ広場PJ」
- 「地域産業発信PJ」
- 等を**バックアップ**

実現へ向けての人脈・情報・知恵の提供

運営者へバトンを渡す

当面のスケジュール（案）



5月

6月

7月

8月

9月

10月

開発事業者
(アルファコート)

5/下
解体着手
基本設計
完成

7/上
工事着手

完成
R5 3/15

推進協議会

5/11
協議会
5/11
運営検討委
設置

運営検討委員会開催
3回程度を想定

7/下
第12回協議会
運営検討委か
らの提案

時期未定
第13回協議会
運営方針を基に運
営者への提案検討
※運営検討委に任せる?

運営検討委員会
運営者との協議

複数回
を想定

議会

5/11
全員協議会

住民説明

基本設計概要
の全戸配布
住民説明会

町

運営に関
する提言

施設運営方針
の策定

9月
定例議会
条例制定
予算措置

運営者募集 → 運営者決定

◎グループワークの議論の焦点

1. 持続可能な運営について掘り下げてみる

★前頁で今までの議論の要点をまとめています。施設が持続するためにはどうしたら良いか、どのような運営を行えばよいのかという視点で、各要点をベースに考えてみてください。

2. 各施設（機能）が相互に連携する具体的な仕組みを考えてみる

★施設の一体感や、複数の施設（機能）が連携する仕組みについて、どうやったら実現できそうか、日常的、イベント時など様々なケースで考えてみたり、人をどのように誘導するのかなどの仕掛けも考えてみてください。

・ワークショップのタイムテーブルの目安

- ・時間配分などの目安は以下のとおりです。

ワークショップのねらい『アイデア出しから、実現させるための具体案の検討をし提言に結びつける』

00-30 30分間グループディスカッション（3グループ）

30-40 10分間グループ内整理

40-50 10分間グループ発表（グループ代表orファシリテーター）

50-55 5分間全体まとめ（ファシリテーター）

55-60 5分間おわりに（会長）

以上となりますが、進行具合により時間配分が変更（短縮、拡大）となることもあります。

ただ、協議会全体の時間として90分程度と考えております。